

平成 27 年度

# 学生の提言

「 どのようにネットとつき合うか 」

# 目 次

卷 頭 言.....2

論文募集要項.....4

入 賞 者 一 覽.....5

審 查 委 員.....5

受 賞 作 品

◆優秀賞（沖野 隼之介）.....受賞作品

# 学習院大学

平成 27 年度「学生の提言」全体講評および入賞者（優秀賞）講評  
－ 「学生の提言」論文審査を終えて －

学生センター所長  
常岡孝好

本年度の学生の提言のテーマは、「どのようにネットとつき合うか」であった。今日、インターネットを抜きにして我々の生活が成り立つとは考えにくい。インターネットは、個々の大学生の勉学や課外活動にも様々な功罪をもたらしている。これまで、筆者が苦々しく思ってきたのは、インターネット上に氾濫する情報を、その真偽を精査せず、コピー&ペイストしてレポートを作成したり、ネット上の論説について出典を明らかにせずあたかもオリジナルな意見・情報であるかのように提示したりすることであった。こうした苦い経験もあったことから、学生諸君に、より広く、インターネットとの付き合い方について考察してもらおうとする今回のテーマは絶好のものと思えた。

今回、全体で 10 編の応募があった。この数字は、最近の応募件数と比べて、比較的多い方である。これは、インターネットが身近な存在で、論じやすいテーマであったことも関係しているのではないか。10 編の論考は、ネットをめぐる様々な問題に切り込んでくれている。たとえば、ネット利用者が守るべきルール、Twitter における炎上事件、インターネットリテラシー、ICT の人材育成、ネット私刑、ネット空間におけるヘイトスピーチ、情報モラル教育、Wikipedia 引用の是非、SNS と LINE の問題点、インターネットによる「反モラル」等々。

優秀賞を受賞した沖野論文は、①インターネットが普及しても、人間の活動の本質は変わらない、②情報量は増え、活動は加速していると現状分析する。インターネットは、人間の活動を加速化する触媒であるというのである。そして、数十社もの企業への就活、“情報過多社会” “SNS 疲れ” など、すべてはインターネットの、活動加速化という触媒作用によるものだと断言できるとする。しかし、インターネットという触媒は、反応のサイクル・速度を大きくするだけで、人間の活動の本質は変えることはないのではないかという。そこで、「人間の能力には限界がある」ことを意識し、清く正しく生きるしかないと言明する。本論文に対して、審査委員からは、幅と重みがある、文章も適切で説得力があるとの評が多数出された。今後、「清く正しく生きる」より具体的な方策を提言してくれることを期待したい。

佳作の加藤論文は、ネット上で私的な制裁・糾弾などを目的にして特定個人

等の行為や発言に対して集団的に誹謗、中傷などをするという「ネット私刑」を取り上げ、ネットとの付き合い方を模索している。ネット私刑の事例においては、通例、①写真が添付されていること、②事の全容が明らかでないこと、③本来知られなかったようなことが知れ渡ること、④晒された側が被る不名誉、不利益が考慮されていないという問題点があると指摘する。そして、個人攻撃の内容が含まれる投稿を正当化することについて強く反対するとともに、ネットリテラシー教育をテーマとした講習の場を設けるなどの取り組みを行う必要があると提言する。今後、ネット私刑そのものを撲滅する具体策を煮詰めるきっかけとなる論文といえよう。

沖野論文、加藤論文を参考にして、学生の皆さんも、ネットとどのように付き合うか、今一度考えて見て頂きたい。

# 論文募集要項

1. テーマ 『どのようにネットとつき合うか』  
インターネットの普及は、情報収集や、意見表明、他者との繋がりなどを容易にし、若者の日常生活に深く入り込んでいる。一方で、剽窃や、誹謗中傷、依存症などさまざまな弊害が指摘されている。より良いネット社会へ向けて、守るべきルールやモラル、弊害防止策、大学としてなすべきことなど、ネット世代の学生諸君から、活発な提言を求める。
  
2. 応募資格 本学に在学している学生  
(大学院生・法科大学院生・科目等履修生を含む)  
連名及び複数名でも可とします。
  
3. 原稿字数 12,000字以内、1図表は200字換算  
(縦A4判横書きとし、Word等のワープロソフトを使用)  
表紙に、学籍番号・学部学科・学年・氏名・住所・電話番号を明記し、紙媒体(1部)と電子媒体の両方を提出してください。
  
4. 提出期間 平成27年9月1日(火)～10月9日(金)
  
5. 表彰 優秀賞：賞状・副賞10万円、佳作：賞状・副賞3万円

# 入賞者一覧

## ◆優秀賞（賞状及び副賞10万円）

沖野 隼之介（自然科学研究科 化学専攻 博士前期課程2年）

## ◆佳作（賞状及び副賞3万円）

加藤 恵（政治学研究科 政治学専攻 博士前期課程2年）

# 審査委員

井上 寿一（学長）  
常岡 孝好（学生センター所長・法学部教授）  
野中 尚人（法学部教授）  
椋 寛（経済学部教授）  
中島 平三（文学部教授）  
持田 邦夫（理学部教授）  
廣 紀江（スポーツ・健康科学センター教授）  
能見 善久（法科大学院教授）